

他大の「過去問」出題OK

岐阜大学（黒木登志夫学長）を中心に、お茶の水女子大や日本医科大学など全国の国公私立17大学が、2008年度の入試から、それぞれが著作権を持つ過去の入試問題について、自由に利用できる協力関係を結ぶことを決めた。入試の度に他大学の過去問題をチェックする手間が省けるうえ、過去問題との類似を避けようとする余りに作られる「珍問・奇問」を減らすことにもつながり、17大学ではほかの大学にも参加を呼びかけている。

2008年度入試から

入試問題は、毎年、他大の過去問題を詳細に調べ、出題されていない独自の問題を作る必要があり、担当者にとっては苦勞が絶えないものとなっている。部分的に似ているだけでも、大学側の過誤として、予備校などが指摘したり、報道で取り上げられたりすることもあって、独自性を追求した結果、難問や奇問の出題を招く要因にもなっている。

このため、黒木学長が幹事となって「これらの無駄と弊害をなくし、受験生に良質な入試問題を提供しよう」と、お茶の水女子大などに働きかけ、過去問題の共有化を決めた。

参加大学は「大学入試過去問題活用宣言」をして、過去問題を公表すれば、同じ問題を出題できるほか、問題の一部を変えて出題することも可能だ。また、受験生には入試要項や大学のホームページで、事前に「活用宣言」していることを周知する。

受験生が過去問題の勉強ばかりに力を注ぐのではなく、懸念もあったが、岐阜大では「本やインターネットで公表されている過去のトで公表されている過去の学に限るといふ。文部科学

入試問題だけでも膨大な数で、出題予測は実質的に「不可能」としている。今後は他の大学にも参加を呼びかけるが、参加できないのは4年制、6年制の大観点から期待がもてる」としている。

岐阜、お茶の水など17大学

【国立】
岐阜市立科前手田形宮梨州岡
お茶の水女子大 岐阜市立科前手田形宮梨州岡
名古屋大 岐阜市立科前手田形宮梨州岡

【私立】
堂林科 珍問・奇問
天美医 なくなり
順桜日

参加大学

【国立】
岐阜市立科前手田形宮梨州岡
お茶の水女子大 岐阜市立科前手田形宮梨州岡
名古屋大 岐阜市立科前手田形宮梨州岡

読売新聞
2006年11月18日（朝刊）
※無断転載不可